令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1 教育理念・目的・人材育成像等		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
1	理念・目的・人材育成像は定められているか	理念・目的・人材育成像は教育課程の中に明記されている。このことは入学時に、学生・保護者に詳細に説明し、また年度初めのオリエンテーションでも全学生に周知徹底している。	4	
2	学校の特色は何か	社会に貢献し得る人間性豊かな人材の育成を目的としており、卒業生の約85%は県内の医療関連施設に入職、地域医療に貢献している。	4	
3	学校の将来構想を抱いているか	少子高齢化の進む社会に対応できる保健・医療・福祉のスペシャリストとして必要な倫理観と知識・技術等を自ら学び続ける事が出来るような有能な人材を育て、地域社会に求められる学園であることを目指している。	4	

2 学校運営		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
4	運営方針・事業計画は定められているか	教育理念や目的、人材育成像に沿った学校運営方針が、事業計画に策定されている。	4	
5	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	運営管理は、法人事務局と密接な連携のもと意思決定等効率的に行っている。	4	
6	人事、給与に関する規定等は整備されているか	概ね整備されている。	3	
7	意思決定システムは確立されているか	各種会議を通して、十分な意見交換の上、職員の同意のもとに決議している。	4	
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	各種データの記録・保存・活用に関しては、問題なく運用されている。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

3 教育活動《看護学科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価 委員会による評価
9	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	学園の設立理念に基づき関連科目を編成し、進捗表及び各科目の学習目標、授業計画・評価方法は教育課程に掲載し、学生及び教員に周知している。	4	
10	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	看護師として修得して欲しい知識・技術・人間性などの資質を明文化したものを教育課程に示し、年度初めに学生に周知している。	3	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	段階的に修得できるよう体系的に編成されている。	3	
12	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	教育理念、教育目標に沿った科目内容、科目間の関連性、科目の進捗について学生教員双方で、確認納得しながら進めている。	4	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価は全科目実施している。教員各々担当科目の評価分析を行い、教員全員で共有し、次年度の授業内容の改善・工夫につなげている。	4	
14	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	要件を備えた教員の確保に努めており、欠員が生じた時には速やかに補充できる体制をとっている。	3	
15	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則及び学則施行細則に従い厳正に行っている。	4	
16	資格取得の指導体制はあるか	決められたカリキュラム以外に学生の主体的学習を意図したグループ学習・個人学習への支援を行っている。また模擬試験、技術チェックの実施とリフレクションにより学生の学習意欲の維持向上に努めている。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

3 教育活動《医療事務科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
9	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	社会情勢および保険・医療・福祉の現状を常に反映させた講義・演習等を掲げ、医療事務の役割・責任についての見解を深めている。	4	
10	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	医療事務として修得して欲しい知識・技術・人間性などの資質を明文化し、シラバスに示し学生に周知している。	3	
11	カリキュラムは体系的に編成されているか	段階的に修得できるよう体系的に編成されている。	4	
12	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成目標に沿った科目内容、科目間の関連性、科目の進度について学生と教員双方で、確認納得しながら進めている。	4	
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	教員各々担当科目の評価分析を複数教員の協議で行い、次年度の授業展開(改善・工夫)につなげている。	4	
14	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	育成人材像、育成目標に沿った科目の授業目標をたて、それに則した授業方法の改善に努めており、指導力のある教員を確保できている。	4	
15	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則及び学則施行細則に従い厳正に行っている。	4	
16	資格取得の指導体制はあるか	学生の主体的学習を意図した自主教材を作成し、個人学習への支援を行っている。知識・技術の定着を狙った模擬試験、技術チェックの実施を定期的に行い、学生の学習意欲の維持向上に努めている。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

4 教育成果《看護学科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
17	就職率の向上が図られているか	看護師免許取得者の就職率は100%である。	4	
18	資格取得率の向上が図られているか	看護師国家試験対策として、学内での自己学習や試験対策に加え、成績低迷者に遠隔でグループ:個別での国試対策講座を実施した。 令和5年2月に今年度卒業生(見込)全員が看護師国家試験を受験した。	3	
19	退学率の低減が図られているか	自らの入学希望でない学生が進路変更する場合がある。個人面談、また、保護者との連携強化により学習継続への意欲向上に努めている。スクールカウンセラーとも適宜連携し早期対応に努めており、退学者は減少しつつある。	4	
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	今年は10期生の卒業になるが、卒業生の中には勤務施設において既に臨床指導者として後輩の指導教育にあたるものも多く出てきている。卒業後も勤務施設と連携をとり、充実した支援体制が図れるよう引き続き取り組んでいきたい。	3	
4 教育成果《医療事務科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
17	就職率の向上が図られているか	令和4年度の就職確定率は96%である。 引き続き医療機関との連携を図り、医療機関が求める人材の育成を図る。	4	
18	資格取得率の向上が図られているか	令和4年度の医事オペレータ技能審査試験の合格率は100%(全国平均 84.4%)である。 また、医療事務技能審査試験の合格率は100%(全国平均 81.6%)である。	4	
19	退学率の低減が図られているか	学生との教育相談を日常的に実施し、また、保護者との連携強化により学習継続への意欲向上を促し退学率の低減に努めている。今年度の退学者は無し。	4	
20	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	多くの卒業生と連絡・連携が取れており、近況報告する卒業生も多い。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

5 学生支援《看護学科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
21	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	1年次から進路調査を行い、個人面談時など、随時学生の相談に応じている。	4	
22	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	各学年、複数教員による担当制にして、学生からの相談には随時応じている。また、国試対策に関しては、全教員で担当制にし、学年・担当教員のダブル体制で支援した。	4	
23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	日本学生支援機構・県看護師修学資金など公的奨学金、病院奨学金等について随時相談に応じている。	4	
24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	健康管理規定に基づき健康診断を毎年実施し、結果に基づき精密検査の推奨や健康習慣の獲得に向け指導している。また、日々の健康管理と感染対策として、全学生に毎日の健康管理表と行動記録表を提出させ、教員が点検し必要に応じ全体指導や個別指導を行い、健康管理につなげている。	4	
25	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	放課後は、技術演習や課外学習(国家試験対策等)を行う学生が多いことから、その為の支援を行っている。課外活動は特に行っていない。	3	
26	学生の生活環境への支援は行われているか	通学困難な入学生には、不動産業者等の紹介を行っている。入学後は、学年担当が中心になり、一人暮らしに関する相談、援助を日常的に行っている。	3	
27	保護者と適切に連携しているか	保護者に対しても合格者集合等の際、教育カリキュラム、学則、学習の習慣化、体調管理、報告・連絡・相談の大切さ、生活上の留意事項(アルバイト等)について説明している。学生の状況に応じて、随時保護者と連絡を取り双方で学生を支援していく体制としている。	4	
28	卒業生への支援体制はあるか	同窓会「あすなる会」が設置されており、同窓会親族の入学に際してはファミリーサポート制度(入学金の一部免除)がある。また、卒業生に対し図書室を開放するなど、就職後の自己学習環境のフォローも行っている。	3	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

5 学生支援《医療事務科》		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
21	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5月と10月に個人面談を行い、進路希望調査を実施している。面談以外にも随時学生の相談に応じている。	4	
22	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	複数教員による担当制にしていることから学生の相談窓口を広くしている。カウンセラーは常駐していないが、学生が希望する場合は随時、相談できる体制を整えている。	4	
23	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	日本学生支援機構の奨学金及び学費の延納・分納について、随時相談に応じている。	4	
24	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	健康管理規定に基づき健康診断を毎年実施している。結果に基づき必要時に精密検査を勧めるとともに、生活上の留意事項について指導している。	4	
25	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	放課後は、自主学習を行う学生が多いことから、その為の支援を行っている。課外活動は特に行っていない。	3	
26	学生の生活環境への支援は行われているか	通学困難な入学生には、不動産業者等の紹介を行っている。入学後は、担当教員が中心になり、日常生活や健康管理に関する相談、援助を行っている。	3	
27	保護者と適切に連携しているか	保護者に対しても合格者集合等の際、教育カリキュラム、学則、学習の習慣化、体調管理、報告・連絡・相談の大切さ、生活上の留意事項(アルバイト等)について説明している。学生の状況に応じて、随時保護者と連絡を取り双方で学生を支援していく体制としている。	4	
28	卒業生への支援体制はあるか	同窓会「あすなる会」が設置されており、同窓会親族の入学に際してはファミリーサポート制度(入学金の一部免除)がある。また卒業してからも就職のサポートをしている。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

6 教育環境		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
29	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	指導ガイドラインに規定されている施設設備は全て有しており、利用方法などは、施設・設備の使用規程や図書管理規定に明示している。図書の分類・整理等、司書が担当し専門誌等を定期的に購入している。必要と思われる新刊が購入できるよう予算措置がなされている。	4	
30	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	実習中は、すべての領域で教員が同行し、学生指導にあたっている。学生の一部は帰宅後の時間等を利用してインターンシップに参加している。(実習期間中は不許可)	3	
31	防災に対する体制は整備されているか	防災対策は、消防計画等に基づいて、防火体制の整備、防災訓練の実施など、基本的な体制を整備している。防火管理者、施設管理責任者を適切に配置し、必要に応じてその任命を再確認している。年2回の消防点検結果も指摘事項等は全くなかった。	4	
7 学生の募集と受け入れ		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
32	学生募集活動は、適切に行われているか	広報室を中心に県内の高校を訪問し学生募集を行っている。また、オープンキャンパスや高校の先生向けの学校説明会、ホームページ、各種イベントへの参加を通して、適正な情報の公開、伝達に努めている。	4	
33	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	入学案内、ホームページ及び高校訪問やオープンキャンパスを通して、適正な情報を適切に伝えられるよう努めている。また、高校の進路指導主任等に対する学校説明会を実施し、学生の卒業後の就職状況等についても紹介している。	4	
34	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は「学則」及び「施行細則」に基づき適切かつ適正に実施している。受験者、試験結果、合格者等の入学選考に関する情報は、すべて適正に管理している。	4	
35	学生納付金は妥当なものとなっているか	学生納付金は、県内の他の専門学校とほぼ同程度であり妥当である。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

8 財務		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
36	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	定員充足率は約87%であり収入面では安定している。実習設備等の更新に費用を要することから、引き続き計画的な予算執行に努めている。	3	
37	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	年度ごとに、事業計画書と共に収支予算書を作成し適切な執行に努めている。	3	
38	財務について会計監査が適正に行われているか	公認会計士による法定監査及び定期監査を受けている。	4	
39	財務情報公開の体制整備はできているか	学校法人としての社会的責務を果たすため、適正な運営に努めるとともに必要な情報の公開に努めている。	3	
9 法令等の遵守		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価委員会による評価
40	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	専修学校設置基準や関係規則等を遵守し、適正な運営に努めている。保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラムの見直しについて、令和4年4月から国の指導ガイドラインに沿って適正に実施したところである。	4	
41	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護に関しては、その重要性を十分に認識し、学校全体の取り組みとして情報保護を行っている。特に臨地実習においては、「看護師の倫理綱領」に基づき、「臨地実習における個人情報及び実習記録の取り扱い」を定め、実習前オリエンテーションでも周知徹底させている。	4	
42	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	文部科学省のガイドラインで示された評価項目に沿って自己評価を実施して、実践的な職業教育機関としての特色を伸ばすための取組に努めている。	3	
43	自己評価結果を公開しているか	ホームページに公開している。	4	

令和4年度 学校自己点検・自己評価報告

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

10 社会貢献		自己点検・評価	学校自己評価	学校関係者評価 委員会による評価
44	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	他専修学校、関連団体とは協会活動等で連携・交流は行っているが、学校の施設を活用した住民向け講座等を行っていない。土日祝日を利用した関連団体への施設開放は呼びかけているが、利用までには至っていない。	3	
45	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	ボランティア活動の奨励・支援に関しては、学校宛てに依頼があったボランティアについて学生への掲示・告知により周知を図っており、学生の自主的なボランティア活動を奨励している。	3	